

看護学生のための情報誌

# きらり 看学生



2017年10.11月号

発行☆兵庫県民主医療機関連合会看護学生委員会  
〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目3-7  
Tel: 078-303-7351 Fax: 078-303-7353  
E-mail: kangakusei@hyogo-min.com



## ナーシングセミナー実施しました

詳しい内容は「ナーシングセミナー報告」P8をご覧ください。

### Contents

P2-3 看護の現場より

P4-5 ENS 報告

P6 私が出会った患者さん

P7 ほっとStation

P8 ナーシングセミナー報告



患者さんの立場になって考えることの難しさを知って……



尼崎医療生協病院 産婦人科病棟  
助産師 梅崎 七海

看護学生の皆さんに、私たちが日々看護を実践している現場での悪戦苦闘ぶりや、看護に対する熱い思いを感じていただきたく、シリーズで紹介しています。今号は助産師さんの「看護の現場」です。

思っています。このようなサービスは生協病院ならではの良さであるので、組合員（対象者）さんに伝え、赤ちゃん増資のご提案などをして、一緒によりよい病院をつくっていけるようきっかけ作りを行っています。

## はじめに

私は尼崎医療生協病院に就職して3年目になります。少しずつ仕事環境にも慣れ、自分の役割もでき忙しいながらも、とても充実した毎日です。

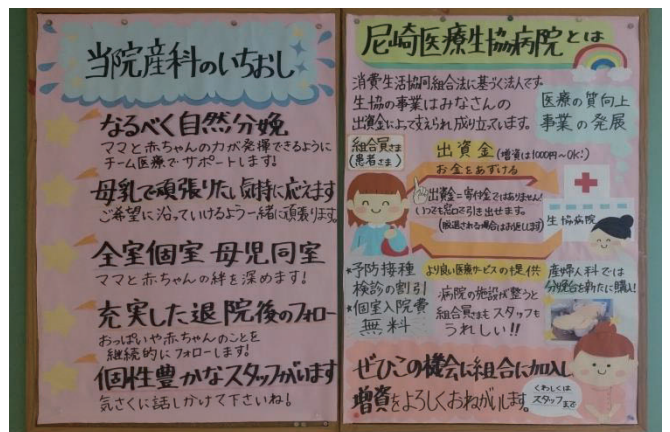
当院の産婦人科は長い歴史があり、経験豊富な助産師・看護師の先輩方と一緒に働きながらお産や看護を学ぶことができ、勉強になることばかりです。

痛くて苦しいお産を乗り越え、お母さんお父さんとなる対象者さんの喜びや幸せ、時には弱音もそばで一緒に感じられること、そしてかわいい赤ちゃんのお世話を一緒に出来ることがとても楽しいです。

## 当院産科の特徴

当院産科では完全個室での母児同室です。お母さんや赤ちゃんの状況に合わせてゆったりと過ごして頂けますし、母乳育児の確立も促しやすく、母子にとって優しい環境です。

また夜間や祝日であっても分娩の差額料を頂いておらず、基本的に何もリスクが無ければ自然分娩を推奨しているので、産婦さん本来のお産の力を信じ、助産師が活躍して支えることができるのも魅力だと



また当院は、尼崎市の産婦人科の中で唯一の助産制度受け入れ分娩施設であり、社会的ハイリスクな対象者さんも少なからずおられます。

**助産制度：経済的理由により入院助産を受けることが困難な妊産婦が、安心して出産できるよう助産施設への入所、出産費用を援助する制度。**

いろいろな社会背景の方々が地域にはいらっしゃいますので、中には約5日間の入院期間だけでは十分に安心して自宅に退院できないケースもあります。





退院後もフォローを設定し、必要な限り通院して頂きながら、母乳育児の確立をサポートしたり、新生児の成長・安全を確認するために訪問などを行っています。

また社会的ハイリスクな対象者さんへは、育児支援を地域の保健師さんに依頼し、情報を提供したり、入院中から地域の行政の方々と連携し、カンファレンスを実施しながら母子が安心して地域で過ごせるような支援を行っています。

### 対象者さんの立場になって考えることの難しさを知って…

産科病棟では、「おめでとう」と新しい命の誕生と一緒に祝福できる場所であり、母子共に無事に出産を終えると、とても安心します。

しかし、無事に出産を終えたとしても、その後の育児環境が整っているとは限りません。

私が印象に残っている対象者さんの事例で、シングル・若年で知的障害と精神疾患を抱えながらお産入院をされた方がいました。長時間痛みに耐えてやっと産まれてきた赤ちゃんに母の愛着は十分あり、本人も母乳育児を希望されていました。

しかし母乳育児を進めるにあたって授乳時間の管理や、赤ちゃんにどれくらい飲ませたら良いのかという計算、細かい臨機応変な育児手技が出来ず、病棟スタッフに行政担当者を交えて、何度もカンファレンスを行いながら授乳プランを考えました。

母乳育児よりミルク授乳では摂取量が目に見えるので、どれだけ赤ちゃんが飲んだか把握しやすい。

この対象者さんの生きてきた背景はどうか、生活環境や経済状況、サポートしてくれる人はいるのか、そして入院中の言動、出産後の心情の変化、赤ちゃんへの関わりや母としての自覚をすり合わせながら今後の育児について、どの程度のサポートや介入が必要になるかといった内容を話し合います。

話し合いに伴って、私たちは赤ちゃんの安全を守るために母乳育児ではなく、ミルク授乳の方法を指導し自立できるように入院中にサポートしました。

しかし、対象者さんは退院後も継続したミルク授乳ができず、赤ちゃんの体重増加不良に繋がり長期間の通院が必要になるなど、複雑な経過を辿りました。時には本人が希望していた母乳育児をトライしてみても良かったのではないかと、振り返ることもありました。正解が無いためこの選択でも良かったのかなと、迷いと振り返りの連続です。

私達は母親と赤ちゃんの2人の命を守らなければなりません。対象者さんのご希望と、実際直面する問題に対して解決・判断をするために医療職者として必要な情報収集をし、相手の立場に立って生活レベルでイメージすることが大切であると感じたと共に、その難しさを実感しました。

私は出産も未経験ですし対象者さんと同じ状況ではありませんが、わからないなりに分かっていこうとして関心を持ち、自分にできることは何かと考え行動することが大切だと思います。本当にこの対象者さんが望むもの・必要なものは何かと、小さな変化や言動からのメッセージを受け取ることが出来るように自分の役割を見つめ直しながら、日々の業務に向き合いたいです。



### おわりに

私たちは対象者さんが持つ力を大切にしながら、いつでも緊急事態に備え、多職種でサポートしています。当院産科はとてもあたたかく、地域にとって必要なお産場所であると思っています。



近畿看護学生ゼミナール Egg Nurse Step→B (略して ENS)  
が8月10日、大阪リバーサイドホテルにて開催され、  
122名の看護学生と看護師などの職員が参加しました。



## 第15回 ENS in 大阪リバーサイドホテル

ENSは、民医連の近畿全体で毎年開催している夏の恒例行事で、今年15回目を迎えます。今回は、忙しい看護学生さんがたくさん参加できるように初の日帰り企画となりました。学習と交流をメインに実行委員会を立ち上げ、昨年大好評だった「先輩看護師と語ろう」で、現場の看護師さんとの交流をたっぷり盛り込みながら、看護学生同士が仲良くなれる交流企画（楽しいゲーム）も練り上げて本番に臨みました。

例年の2日分の行事をギュッと1日に盛り込みましたが、とても楽しい交流ができました。その内容をご紹介します☆



### 学習企画

### 事例から学ぶ民医連看護

### ～私たちが大切にしていること～



#### 民医連が大切にしていること

- \*個人の尊厳…「その人らしく」あるために
- \*生活と労働の視点…「その人の背景」にあるもの

民医連では、実際にはどういう看護の取り組みがされているのか、社会と医療の情勢「阪神淡路大震災」「多職種連携」「その人らしく」について、事例を通して、トリオセッション・グループワークで学びました。



1995年1月17日午前5時46分。兵庫県神戸市の沖合を震源としてM7.3を記録し、被害は神戸を中心に大阪、京都など近畿圏内に及びました。特に神戸の市街地では、地震だけでなく、その後の火災でも甚大な被害が出たことを当時の写真や動画で学びました。

このような社会背景の中、震災が原因で仕事が出来なくなり、自宅は全壊状態のままの家で生活保護を受給しながら暮らしていたA氏が、震災後20年が経過し、老いと病気の悪化で入院されました。

「自宅に帰りたい」というA氏の気持ちに寄り添い、多職種の専門家たちが連携し、意見を出し合うことで最後は自宅に帰ることができました。

患者さんの声に耳を傾け、患者の立場に立って考え行動したことで、患者さんの願いが実現した事例を学びました。



<感想> 「患者さんの思いを尊重する大切さを学びました」「患者さんの経済状況、精神状態、願いなど、患者主体で考え看護していくことが大事だと思いました」「その人らしさや生活背景を知った上で多職種と連携していくことが必要なのだと思いました」



## 大交流会



「班で協力するゲームが多く、一緒に笑い合えて楽しかったです」



人間知恵の輪♪



「初めての人とでもうちとけて楽しく交流できました!」



伝言ゲーム♪



「クイズやゲームが工夫されていてとても楽しかったです!」



毎年恒例☆人間いす!



「大交流会」では、人間知恵の輪・伝言ゲーム・借り人レース・イントロクイズ…と盛りだくさんの内容で、大いに盛り上がり、班のメンバーとの交流を深めることができました。

## 先輩看護師と語ろう企画



「他県、他校の人と話をしたり、看護師のアドバイスを気軽に聞くことができて楽しかったです」

### テーマ ①学習

解剖整理の学習の仕方・いつから国試対策をしたか・学生時代の勉強の仕方など



### テーマ ③臨床

看護のやりがい・初期教育のこと・仕事の優先順位・夜勤の仕事についてなど



「実習で大切なことは、患者の個性をしっかりと見てその人に合った援助ができること。同じ疾患でも一人ひとり生活状況や症状は違う、ということを学びました」



### テーマ ②実習

記録について・カルテの見方や情報収集の仕方・怒られてもくじけずに切り替える方法など

### テーマ ④生活

休日の過ごし方・リフレッシュの方法・生活リズムについてなど

「先輩看護師と語ろう企画」では、各テーマに分かれ先輩看護師に勉強の仕方や実習、看護師の生活や実際の現場についての話を聞き、看護学生の質問にも答えてもらいました。みんなが聞いてきたことを班のメンバーで共有し、それぞれのテーマについて理解を深めることができました。

## シリーズ「私が出会った患者さん」

訪問看護ステーションつばさ

衣笠 美穂子

これは私が在宅医療に携わるようになり、2年が経過したところの経験談です。



### 患者さんの紹介

N氏 80歳代 女性

2015年4月、腓体・尾部がんにて腓体・尾部切除+大網・小腸間膜切除施行後、同年6月より化学療法を受けていましたが、その約1年後に増悪（腹膜播種\*1、肺転移）あり、化学療法は中止、BSC\*2方向となりました。十二指腸の狭窄のためステント留置し、在宅療養を続けていましたが、2か月ほどした頃、全身状態悪化傾向となりました。医師は入院を勧めましたが、N氏は在宅を希望され、訪問看護導入、在宅緩和ケアがスタートしました。高齢の夫・長女と同居、長女は仕事をされており、日中は夫との二人生活でした。

### 経過と看護師としての関わり

食事・水分は徐々に摂取困難となり、程無くして経口摂取は出来なくなりました。癌性疼痛もひどくなり、適宜主治医のH医師と連携し、鎮痛剤の調整を行っていきました。また、点滴開始に伴い、毎日2回以上の訪問となり、1ヶ月の訪問回数は50回近くになりました。

N氏はとても気丈でしっかりされている方で、もともと様々なボランティア活動や民生員活動などをされており、ご自身が辛い状況であるにもかかわらず、気遣いをして下さり、明るく心優しい方でした。

告知内容もしっかりと受け止め、子育ての話や実父を在宅で看取った経験談、死生観についても語ってくださり、「家族との思い出が詰まった、住み慣れた自宅で最期の時を迎えたい…」 「父親の時から信頼していたH先生に死ぬまで見届けてほしい」とはっきりと希望を伝えて下さいました。病气から逃げず、泣き言も言わず、最期まで自分らしく生きようとされる姿に

感動し、多くのことを学ばされ、訪看チームでその思いを支えたいと、一丸となりサポートさせて頂きました。

お亡くなりになられるその直前まで、私たちに対して、「〇〇さん、ありがとう！大好き！」と手を握り、抱きしめてくださいました。最期は遠方のご家族も駆けつけ、みんなに見守られながら、長年過ごされたご自宅で、眠るように天国へと旅立たれました。訪問看護開始から1.5ヶ月間の関わりでした。

### 死ぬまで生きること 死に方は選べること

この1.5ヶ月という短かったけど濃密であったN氏との関わりを通して、私は、当たり前なのですが、改めて「人は死ぬまでちゃんと生きるんだ」と再認識しました。生まれる時、自分ではその状況の選択ができませんが、最期の時はできます。死に方ではなく、息を引き取る最期の瞬間までご本人らしく「生きる」状況の選択です。

「死」とは、その方の人生の最期で最大の出来事、ご家族の心にも深く深く刻み込まれる出来事であり、その大切な最期の時に関わらせて頂き、N氏の願う「最期の生き方」のご意向に出来る限り沿えるようにチームで一丸となりケアに当たりました。在宅医療の限界を伝えられ、当初は不安に思っていたご家族様も、最後は心から感謝して下さいました。

これからも、N氏から学ばせて頂いた多くのことを胸に秘め、在宅療養される方々への支援につなげていきたいと思いました。

\***腹膜播種**…播種とは、種がまかれるように体の中にバラバラと腫瘍（がん）が広がること。がん細胞が臓器の壁を突き破って、腹膜に広がることを**腹膜播種**という。

\***BSC**…Best Supportive Careの頭文字をとった略語で、がんの治療において、がんの症状を和らげる治療に専念すること。効果的な治療方法がない場合や、患者自らの希望に応じて、痛みを和らげるなどの治療を目的にケアを行うことを指す。



# ほっと Station☆

食欲の秋です。しっかり栄養をつけて頑張ってくださいね。

正解者から抽選で 5 名の方に図書カードをプレゼントします。(返信ハガキをご利用ください)

## 前号クイズの答え

1. 左奥・星を見ている人のシャツの裾
2. 星の数
3. 左手前・バッタを指差す人の左袖
4. 中央・バッタの向き
5. 右奥・縁側の人
6. 犬がくわえているもの
7. 右端・驚く子の右目



## 7つのマチガイ

[問題]上の絵と下の絵では7つのマチガイがあります！どこでしょう？(作・野上和彦)



## ハーブティーがもたらすリラックス効果

古代エジプトから伝わるハーブ。ハーブには自然な癒しのパワーがあります。

ハーブティーはその香りと飲用の相乗効果によって、心と体にリラックス効果とリフレッシュ効果を与えてくれます。香りを嗅ぐことは、脳の五感を刺激し、心地よさをもたらせます。それぞれに効能が異なるので、自分にあったものを選ぶことで、気持ちのゆとりにつながることでしょう。

ジャスミン茶 優雅でローズに似た甘い花の香りが心の安定に役立ちます

ラベンダー茶 精神的ストレスを和らげ、不安や緊張をほぐして気持ちを穏やかにしてくれます

レモンバーベナ茶 爽やかなレモンの香りは神経の高ぶりをしずめ、元気を与えます

ローズ茶 甘く魅惑的な香りが不安や疲れを解消。女性の美と健康に役立ちます

### ハーブティーの入れ方

1. 最初にティーポットとカップは、お湯を入れて温めておきます
2. ティーポットには、カップ 1 杯に対して大さじ 1 を目安に入れます
3. 沸騰したてのお湯をティーポットに注ぎます
4. 成分や香りを逃さないためにも、すぐにふたをします。2～3分蒸らして、カップに注ぎます



**【お知らせ】次号より紙面リニューアル！**

# ナーシングセミナーで 学びました

8月から9月にかけて兵庫民医連の各病院で、看護学生のみなさんを対象とした「ナーシングセミナー（看護学生の看護師体験）」を開催しました。今年は合計73名（延べ人数）が体験されました。参加者の感想を報告します。

## 尼崎医療生協病院

手術室看護師の役割は術前訪問やカンファレンスなど、術中だけでなく術前から関わることで個別性のある看護が展開できるのだと感じました。他部署との連携が大切になると学びました。

（専門学校3年＊手術室を体験）



## 神戸協同病院

教科書でしか見られない褥瘡を初めて自分の目で見ました。褥創の深さや大きさを診断をして分類することも知らなかったので驚きました。痛そうにしている患者に寄り添うことができるのは、看護師だということを学びました。（専門学校1年＊褥瘡回診）

ICUではモニタリングやバイタルの観察項目を必要とされ、自身の行動とアセスメント力、知識と技術を円滑に行う大切さを学びました。患者さんの病態の理解が非常に大切だと感じました。

（専門学校3年＊内科急性期病棟ICUを体験）

訪問診療で印象に残ったのは、一人暮らしをされている外国人の患者さんで、介護ノートを通じて他職種との連携を図っていました。観察力や、異常に気づく為にもその人の様子を知っておく事も大切だと思いました。（大学2年＊訪問診療）

## 東神戸病院

地域包括ケア病棟では、看護師さんが患者さんのことを本質からしっかり見ている、その本質があった上で話をされており、ものすごくテキパキ動かれていたのが印象的でした。（専門学校1年＊地域包括ケア病棟を体験）

緩和ケア病棟のナースステーションに入って、まず最初に病棟目標が目につきました。「患者のこだわりを見つけよう」という目標は終末期にある患者さんの療養生活の質を高める上で、切っても切り離せないこだわり（その人らしさ）が守られていると感じました。

（専門学校3年＊緩和ケア病棟夜勤を体験）



みなさんも、授業や実習の振り返りの確認、インターンシップを兼ねて、ぜひ来年参加して下さいね！

